「育てたい 暮らしたい 帰りたい
みんなで未来へ駈けるまち」

この要覧では、「人」「誇り」「エネルギー」をキーワードに、
まちの人と作り上げた「総合計画」で目指している「いま」から「未来」に向かって取り組むまちを表しました。
子どもたちが安心してのびのび育つことのできるまちはみんなにやさしいまち。
生活の支えのある安全で安心して健やかな暮らしのできるまちはみんなに心地よいまち。
受け継がれた思いや誇れるもの、愛着のあるまちはみんなが帰ってきたいまち。
未来に向かって、ひととひとがちからをあわせ挑戦するまちはゆたかな未来をつくるまち。

沿革

1889年（明治22年）	植苗村美々からフモンケ（現早来富岡）に入地・開墾
1892年（明治25年）	北海道炭礦鉄道室蘭線・夕張線開通、追分停車場開業
1894年（明治27年）	早来駅開業
1900年（明治33年）	安平村開村・早来に戸長役場設置
1901年（明治35年）	安平駅・遠浅駅開業、由仁早来間道路開通
1933年（昭和 8 年）5 月	国内初となるチーズ工場が誕生
1952年（昭和27年）8 月	安平村より追分が分村
1966年（昭和41年）6 月	早来～沼ノ端間の新国道234号線工事が完了
1975年（昭和50年）12月	D51 241が追分～夕張間を蒸気機関車日本最後の走行
1981年（昭和56年）10月	日本国有鉄道石勝線開通
1999年（平成11年）10月	道央自動車道千歳恵庭JCTと夕張ICを結ぶ道東自動車道開通
2006年（平成18年）3 月	追分町と早来町が合併し安平町誕生
2018年（平成30年）9 月	北海道胆振東部地震発生
2019年（平成31年）4 月	道の駅あびらD51ステーション開業
2023年（令和 5 年）4 月	安平町立早来学園開校

概略

安平町の地勢は、西側を馬追丘陵から続く標高100m～150m程の丘が北から南に走っており、東側は夕張山系に連なる山地となっています。また、追分から早来にかけて南北に安平川が流れ、苫小牧市街東方で太平洋に注いでいます。地質は、樽前系の火山灰土に覆われています。

気候は年間平均気温が6.5度と北海道の平均と比較すると暖かく、また、年間降水量は1,000㎜程度で、降水は7～9月に集中しており、冬期の積雪は北海道では少ない地域となっています。

面積は237.16㎢で南北に長く比較的大きな遠浅、早来、安平、追分の4地区が南北に連なっています。

人口は令和6年1月現在7,311人で、道内市町村では中位よりやや多い規模となっています。